



2023年11月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月13日

上場会社名 株式会社ノダ

上場取引所 東

コード番号 7879 URL <https://www.noda-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野田 励

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 良知 正啓

TEL 03-5687-6222

四半期報告書提出予定日 2023年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第3四半期の連結業績(2022年12月1日～2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第3四半期	53,482	10.0	3,511	53.8	3,684	54.6	2,062	57.5
2022年11月期第3四半期	59,398	26.2	7,593	204.6	8,117	189.9	4,855	186.6

(注) 包括利益 2023年11月期第3四半期 3,519百万円 (48.1%) 2022年11月期第3四半期 6,778百万円 (226.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第3四半期	128.47	
2022年11月期第3四半期	298.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年11月期第3四半期	73,452	43,115	51.8	2,369.58
2022年11月期	76,632	40,730	47.1	2,248.63

(参考) 自己資本 2023年11月期第3四半期 38,045百万円 2022年11月期 36,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期		30.00		30.00	60.00
2023年11月期		30.00			
2023年11月期(予想)				25.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年11月期の連結業績予想(2022年12月1日～2023年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	11.1	4,600	53.1	4,800	53.5	2,600	57.1	161.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年11月期3Q	17,339,200 株	2022年11月期	17,339,200 株
期末自己株式数	2023年11月期3Q	1,283,586 株	2022年11月期	1,283,586 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年11月期3Q	16,055,614 株	2022年11月期3Q	16,285,130 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年12月1日～2023年8月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進みましたが、資材・エネルギー価格の高騰や円安の進行、ロシア・ウクライナ情勢の長期化など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

住宅業界におきましては、建築コストの高騰や物価上昇により住宅取得マインドが低下するなか、住宅需要は弱含みの状態が続いており、持家や分譲戸建ての新設住宅着工戸数が前年同期比で減少いたしました。また、国内の木材供給が緩和するなか、合板についても荷動きが低迷し、国内合板相場は期初から調整局面で推移いたしました。

このような厳しい事業環境において当社グループは、収益確保のため、固定費のコントロールや生産性の向上、原材料の見直しなど各種コストダウンの徹底に取り組みました。また、全面リニューアルした内装建材の新シリーズ「カナエル」(1月先行発売、4月本格発売)の拡販に注力するとともに、合板やMDF(中質繊維板)など素材については、需要動向に即した適切な仕入・生産・販売に努めました。しかし、住宅の着工減により販売量が伸び悩むなか、原材料や副資材、物流など様々なコストアップも重なり、収益性が低下いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高53,482百万円(前年同期比10.0%減)、営業利益3,511百万円(前年同期比53.8%減)、経常利益3,684百万円(前年同期比54.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,062百万円(前年同期比57.5%減)となりました。

◇セグメント別の状況

〔住宅建材事業〕

住空間に対するニーズの多様化に 대응するため、意匠性や機能性を高めた高付加価値製品の提案を強化するとともに、リフォーム・リノベーションや非住宅分野の需要獲得に向けて、各種防音フロアやバリアフリー商品群「ユニバーサルディレクト」の拡販に注力し、シェアの確保に努めました。

また、これらの取り組みと並行して、“あなたらしさを新しくする”をコンセプトに、自分らしい暮らしをかなえるための提案を盛り込んだ新シリーズ「カナエル」拡販のため、全国各地での展示会開催やWeb・SNSの活用など各種提案活動を徹底し、既存顧客への早期浸透や新規顧客の獲得を図りました。

しかし、原材料コスト等が高騰するなか建材・MDF製品全般の販売価格を改定し、収益の確保に努めましたが、コストアップの吸収には至らず採算性が著しく低下いたしました。また、住宅需要が弱含みで推移するなか、製品全般の販売量が大幅に減少いたしました。この結果、住宅建材事業の売上高は30,966百万円(前年同期比6.9%減)、セグメント利益は244百万円(前年同期比88.2%減)となりました。

〔合板事業〕

合板については、国産・輸入いずれも需要の減少が顕著に表れ、国内合板相場が調整局面で推移するなか、販売量は大幅に減少いたしました。

国産針葉樹合板は、期初から国内出荷量が低迷し、販売価格は値下がり傾向で推移するなか、当社グループを含めた合板メーカー各社は生産調整を継続いたしました。その効果もあり、当第3四半期に入ると荷動きは徐々に回復し、値下げ幅も縮小傾向となりましたが、販売量の本格的な回復には至りませんでした。

輸入南洋材合板は、入荷量の減少により港頭在庫の調整が進み、当第3四半期には販売価格に底値感が出始め、販売量も緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、期初から続いた販売価格の下落や販売量の低迷、円安の進行により採算性は低下いたしました。

この結果、合板事業の売上高は22,516百万円(前年同期比13.9%減)、セグメント利益は4,665百万円(前年同期比32.6%減)となりました。

〈セグメント別売上高及び損益〉

	売上高(百万円)	前年同期比(%)	構成比(%)	セグメント利益(百万円)	前年同期比(%)
住宅建材事業	30,966	△6.9	57.9	244	△88.2
合板事業	22,516	△13.9	42.1	4,665	△32.6
調整額※	—	—	—	△1,397	—
合計	53,482	△10.0	100.0	3,511	△53.8

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去、並びに各報告セグメントに配分していない全社費用です。

(2) 財政状態に関する説明

◇資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は73,452百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,180百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少1,986百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少4,244百万円、製品の増加781百万円、仕掛品の増加342百万円、原材料及び貯蔵品の減少577百万円、機械装置など有形固定資産の増加1,308百万円、投資有価証券の増加1,364百万円などによるものです。

負債は30,336百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,564百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少3,484百万円、未払法人税等の減少2,548百万円、長期借入金の増加1,306百万円などによるものです。

純資産は43,115百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,384百万円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加2,062百万円及び配当による利益剰余金の減少963百万円、その他有価証券評価差額金の増加564百万円、非支配株主持分の増加442百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、2023年11月期の通期連結業績予想を修正しております。内容等の詳細につきましては当該資料をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,869,756	19,883,401
受取手形、売掛金及び契約資産	15,496,313	11,251,837
製品	8,126,313	8,907,923
仕掛品	1,250,192	1,592,583
原材料及び貯蔵品	4,032,173	3,454,403
その他	619,779	886,057
流動資産合計	51,394,529	45,976,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,991,150	3,155,352
機械装置及び運搬具(純額)	3,974,815	4,973,535
工具、器具及び備品(純額)	341,741	356,415
土地	6,154,017	6,264,430
立木	126,295	124,806
リース資産(純額)	257,381	266,302
建設仮勘定	933,701	946,360
有形固定資産合計	14,779,103	16,087,202
無形固定資産	759,730	581,232
投資その他の資産		
投資有価証券	7,254,797	8,619,351
繰延税金資産	1,681,448	1,445,279
その他	764,525	744,845
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	9,698,772	10,807,476
固定資産合計	25,237,605	27,475,911
資産合計	76,632,135	73,452,119

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,201,515	10,716,846
短期借入金	6,255,696	6,667,974
1年内償還予定の社債	21,560	-
未払金	2,271,733	2,321,603
賞与引当金	-	512,267
未払法人税等	2,585,829	37,465
設備関係支払手形	559,347	527,618
災害損失引当金	-	10,047
その他	2,484,316	891,688
流動負債合計	28,379,999	21,685,511
固定負債		
長期借入金	792,770	2,098,980
リース債務	581,224	440,580
環境対策引当金	17,128	13,473
長期末払金	140,980	69,420
退職給付に係る負債	5,978,668	5,972,176
その他	10,750	56,832
固定負債合計	7,521,521	8,651,463
負債合計	35,901,520	30,336,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141,000	2,141,000
資本剰余金	1,587,822	1,587,822
利益剰余金	32,200,048	33,299,425
自己株式	△706,189	△706,189
株主資本合計	35,222,681	36,322,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,105,362	1,669,868
繰延ヘッジ損益	△28,894	△83
為替換算調整勘定	138,826	332,466
退職給付に係る調整累計額	△334,846	△279,273
その他の包括利益累計額合計	880,447	1,722,978
非支配株主持分	4,627,486	5,070,108
純資産合計	40,730,615	43,115,144
負債純資産合計	76,632,135	73,452,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年12月1日 至2022年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年8月31日)
売上高	59,398,164	53,482,412
売上原価	41,920,796	39,975,384
売上総利益	17,477,367	13,507,028
販売費及び一般管理費	9,883,775	9,995,404
営業利益	7,593,591	3,511,623
営業外収益		
受取利息	1,923	1,598
受取配当金	83,207	75,498
受取保険金	37	3,663
為替差益	69,270	30,721
持分法による投資利益	386,700	74,704
その他	66,470	77,805
営業外収益合計	607,609	263,992
営業外費用		
支払利息	46,902	53,859
売上債権売却損	19,014	22,014
訴訟関連費用	3,700	-
その他	14,145	15,546
営業外費用合計	83,762	91,421
経常利益	8,117,439	3,684,194
特別利益		
補助金収入	-	252,480
保険差益	2,524	-
固定資産売却益	-	1,992
投資有価証券売却益	-	1,157
特別利益合計	2,524	255,630
特別損失		
固定資産除却損	52,131	65,702
固定資産圧縮損	-	252,480
災害による損失	-	16,215
特別損失合計	52,131	334,397
税金等調整前四半期純利益	8,067,831	3,605,428
法人税、住民税及び事業税	2,232,596	949,111
法人税等調整額	115,894	5,025
法人税等合計	2,348,490	954,137
四半期純利益	5,719,341	2,651,290
非支配株主に帰属する四半期純利益	864,152	588,577
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,855,189	2,062,713

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年12月1日 至2022年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年8月31日)
四半期純利益	5,719,341	2,651,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	321,267	574,344
繰延ヘッジ損益	5,695	28,811
為替換算調整勘定	225,070	128,811
退職給付に係る調整額	53,410	55,573
持分法適用会社に対する持分相当額	453,562	81,034
その他の包括利益合計	1,059,007	868,575
四半期包括利益	6,778,348	3,519,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,812,612	2,905,243
非支配株主に係る四半期包括利益	965,735	614,622

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。